

医科大 どおり



2023年
第29巻 第2号

CONTENTS

消化器内科(肝胆膵・消化管)紹介

新任臨床教授紹介

摂食・嚥下センター紹介

スペシャリスト紹介

お知らせ

研修医・指導医紹介

はじめまして

患者さんからのご意見



消化器内科(肝胆膵・消化管)紹介

◆診療科長 肝胆膵部門責任者 教授 土島 睦(つちしま むつみ)



令和5年8月1日より、消化器内科、肝胆膵内科、消化器内視鏡科の統合に伴い、名称を消化器内科(肝胆膵・消化管)に変更しました。

当科では消化管・肝臓・胆嚢・胆管・膵臓などの腹部臓器を対象とした内科診療を行っており、肝胆膵部門では、肝・胆・膵系の疾患を治療しています。肝疾患では石川県肝疾患専門医療機関としてB・C型肝炎ウイルスの肝疾患に対して、抗ウイルス薬でウイルス駆除を行っています。肝癌に対しては大きさや個数によって、ラジオ波焼灼療法(RFA)や、肝動脈塞栓療法、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬を含めた化学療法などの治療を行っています。また、膵・胆道系疾患の検査として、超音波内視鏡検査(EUS)、超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診(EUS-FNA)、内視鏡的逆行性膵胆管造影検査(ERCP)等を行っており、減黄処置として超音波ガイド下あるいは内視鏡下でのドレナージを行っています。総胆管結石に対しては、内視鏡的乳頭切開術(EST)、あるいは乳頭バルーン拡張術(EPBD)を行って結石を除去しています。さらに、膵・胆道系の悪性疾患に対しては化学療法を積極的に行っています。

◆消化管部門責任者 臨床教授 向井 強(むかい つよし)



消化管部門では、消化管(食道、胃、大腸)の癌やポリープなどの腫瘍性病変、炎症性疾患、機能性疾患など多岐にわたる疾患に対する診療を行っています。内視鏡的切除のみでは治療できない進行癌に対しては、化学療法あるいは化学放射線療法による治療を行い、潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性疾患に対しては、病状に合わせて生物学的製剤を含む内服薬、注腸剤などを使用し、最適な治療が提供できるよう心掛けています。

◆消化器内視鏡部門責任者 臨床教授 北方 秀一(きたかた ひでかず)



消化管癌の診断および内視鏡治療に重点を置いて診療を行っています。また、予防医学の観点から人間ドックの内視鏡検査を行い、消化管癌の早期発見に努めています。内視鏡センタースタッフ一同、安全で苦痛の少ない内視鏡検査を心がけていますので、ご相談ください。

記:消化器内科(肝胆膵・消化管) 土島 睦・向井 強・北方 秀一

臨床教授就任のご挨拶

◆臨床教授就任のご挨拶 神経科精神科臨床教授 上原 隆(うえはら たかし)

2023年7月1日付けで精神神経科学臨床教授を拝命いたしました上原 隆と申します。

私は1991年に富山医科薬科大学（現富山大学）医学部を卒業後、同大学の神経精神医学講座に入局しました。同大学付属病院神経科精神科で臨床研修を続けながら、1997年3月に同大学大学院医学研究科を卒業しました。研究テーマは統合失調症の原因や治療法に関する研究でしたが、診療については特に専門を決めず、統合失調症やうつ病などの気分障害をはじめ、不安症や強迫神経症、適応障害などのストレス関連障害、てんかんや認知症など、精神神経疾患全般を幅広く診療してきました。大学病院以外では、北陸病院と富山赤十字病院精神科で主に認知症を中心に経験を積みました。特に当時の富山赤十字病院は、認知症専門病棟を有し精神科外来も高齢者が中心でした。これらの経験から、その後富山大学付属病院に戻った後も認知症専門外来を担当するなど認知症を含めた老年精神医学を多く経験しました。



金沢医科大学には2014年4月に異動してきました。金沢医科大学病院神経科精神科は「じっくり患者さんの話を聞く」を基本方針としています。近年は受診者数の増加に伴い、時間的制約を感じていますが、これまでの経験を生かして患者さんに満足していただける診療を心がけていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

【経歴】

1991年 3月	富山医科薬科大学医学部医学科	卒業
1997年 4月	国立療養所北陸病院	精神科医師
1998年 4月	富山医科薬科大学附属病院	助手
2000年 4月	富山赤十字病院精神科部	副部長(2001年10月から同部長)
2010年 3月	ドイツ国ミュンヘン大学	留学
2010年11月	富山大学附属病院	神経精神科 講師
2014年 4月	金沢医科大学精神神経科学	講師
2015年 7月	金沢医科大学精神神経科学	准教授
2023年 7月	金沢医科大学精神神経科学	臨床教授

摂食・嚥下センター紹介

◆概要

摂食・嚥下障害は患者さんの健康寿命を阻害し、在宅生活を困難にする大きな問題です。現在の高齢化社会において摂食・嚥下障害を有する患者さんは急増し、地域における摂食・嚥下障害の評価と治療の頻度が増してきたことから、2020年8月1日に北陸で初となる摂食・嚥下センターが開設されました。当センターは、複数の診療科の医師と言語聴覚士、看護師、薬剤師などの専門職によって構成され高度な専門的治療を提供するセンターになっています。

◆摂食・嚥下外来と詳細な検査

毎週火曜日と木曜日の午前中に摂食・嚥下外来を開いています。まず外来にて患者さんの診察とスクリーニング検査を行います。詳細な検査が必要と判断された場合は、後日の火曜日もしくは木曜日の午後に嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査を実施しています。検査後に医師を含めた多職種でのカンファレンスを開催し、検査結果に基づき治療方針を協議しています。

◆摂食・嚥下外来を受診される方へ

「飲み込みにくい」、「むせることが増えた」などの症状をお持ちの方は、当院の摂食・嚥下センターをぜひご利用ください。患者さんが生涯楽しく食事ができ、住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、しっかり対応させていただきます。

まず、かかりつけ医の先生から当院の地域医療連携事務課に連絡していただき、受診手続きを行ってください。

摂食・嚥下外来の診察日は毎週火曜日と木曜日で、両日も午前9:00～11:00に診察を行っています。



多職種での摂食・嚥下カンファレンス

スペシャリスト紹介

感染制御専門薬剤師 多賀 允俊(たが まさとし)

◆感染制御専門薬剤師とは？

日本病院薬剤師会が院内感染対策や抗菌薬治療等の感染症の専門的知識を有すると認められた薬剤師に与えられる資格です。2023年4月現在、石川県では3名のみ認定されています。



◆入職してからのプロフィールと現在の仕事内容

小児科病棟や呼吸器・消化器内科病棟の病棟薬剤師を務めた後に、2015年度から感染制御室の専任薬剤師となりました。また、2020年度からは抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の専従者 (専らその業務のみを行うこと) となり、感染症で苦しむ患者さんの予後改善および耐性菌発生抑制等の感染症診療で専門知識を発揮しています。また、薬学生をはじめとして、医療系学部の学部生や感染症領域の専門資格を目指す多職種への教育にも力を入れています。

◆資格取得のために必要なこと

感染制御専門薬剤師は感染制御認定薬剤師の上位に位置する資格であり、臨床経験のみならず論文発表および学会発表等の学術分野での貢献も必要となります。一人一人の患者さんに真剣に向き合うことが資格取得に対して最も重要なことであると日々感じています。

◆今後の目標

昨今、抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性菌 (AMR) が世界的に拡大しており、この問題に対してこのまま何も取り組まなければ、2050年の薬剤耐性菌による死亡者数は癌による死亡者数を超えるとされています。薬剤耐性菌を増やさないためには、今ある抗菌薬を適正に使用することが大切です。抗菌薬のスペシャリストとして抗菌薬適正使用に尽力し、耐性菌問題に全力で取り組んでいきたいと思っております。

お知らせ

◆院内ボランティア募集について

金沢医科大学病院では病院ボランティアを募集しています。ボランティア活動にあたっては特別な資格はいりません。時間や回数などご希望に沿います。

【ボランティア活動とは?】

- 個人の自発的な自由意思に基づいて行われる活動
- 他の人とかかわりができ、新たな人間関係を作り出す活動
- 対価や見返りを求めない無償の活動

【ボランティア活動内容】

- 車椅子や備品の整理
- 病院図書コーナーの受付および図書の整理
- 院内各施設への案内および誘導 など

※これらの活動のほか、皆様からのご要望にできるだけお応えします。



【ボランティア活動の登録の条件】

- 心身共に健康で、患者さんのプライバシー等、活動上の守秘義務を守れる方
- 当院の運営方針に沿っていただき、無報酬であることに同意できる方
- 週1回1時間以上で少なくとも半年以上続けられる方（学生など期間の相談可）

※ただし、短期の特別なボランティアについては、別途ご相談します。

【福利厚生】

- ユニホーム(エプロン等)、名札は病院が貸与いたします。
- ボランティア活動日に食堂を利用することができ、病院が食事券を提供します。
- ボランティア活動日の病院患者駐車場料金は、病院が負担します。 など

【申込】

- ボランティア活動申込書(登録用紙)に必要事項をご記入の上、下記までご送付ください。

郵 送：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1 金沢医科大学病院 病院管理課 宛

メール：kanrika@kanazawa-med.ac.jp

F A X：076-286-2372

ボランティア活動申込書(登録用紙)QRコード



研修医・指導医紹介

◆研修医紹介

●1年次初期研修医 横山 信夫(よこやま のぶお) ●愛知県出身

【医師を志したきっかけ】

幼少の頃、体調を崩した際には父のクリニックで診察を受けることもありました。今思えば院長の息子という立場もあったかと思いますがコメディカルの方々にもこやかに対応していただき、漠然と自分もいつかこのような環境で仕事をしたいと考えるようになっていました。進学先を決める頃には当然ながら将来の生活の安定や科目的な向き不向きも考えました。しかし何より、病気の人を治すということに一生の仕事としてのやりがいを強く感じたのは医業を身近に見てきていたからだと思います。



【臨床研修中に印象に残ったエピソード】

学生時代の実習でもなるべく患者さんの顔を見に行き、いろいろなお話を聞かせていただきました。しかし研修医として働きはじめると、患者さんのご家族の顔もまたよく見えるようになったように思います。病状説明の際などに涙ぐまれるご家族の方も多くおられ、とても深く心に残るとともに、なんとかして患者さんの実生活をいい方向に持って行ってあげたいという思いが強くなりました。研修期間にもなるべく多くのことを学び、患者さん一人一人が持つ生活をより良いものにしていく一員として精進したいと思います。

◆指導医紹介

●救命救急科 東谷 俊太(ひがしたにしゅんた)

【最近の研修医の指導について感じていること】

「多様性」という言葉をよく耳にするようになりました。研修医も例外では無いように感じます。昔の常識は今の非常識。そんな声が聞こえてきそうです。しかし、時代が流動的でも医業の本質は人であることは変わりありません。研修医には人間性の育成についても意識しながら指導に当たっています。



【自分の研修医時代との違い】

私は2014年卒です。今の研修医たちと大きく変わらないと思います。自分の「知識、技術、経験」を後輩達に伝えられるよう精進、そして彼らからは新しい刺激を受ける毎日を救急部で過ごしています。

はじめまして



帝王切開だったため予定日より少し早めに誕生したのですが、3080gと大きな男の子で安心しました。とても大きな産声を聞いたときは感動と生まれてきてくれてありがとうの気持ちでいっぱいになりました。生まれてからも脚をバタバタさせて泣く姿、スヤスヤ眠る姿、どの姿もいとおしく幸せを感じます。これから兄弟仲良く元気に成長していってほしいと思います。パパ、ママのところに来てくれてありがとう。

- おとうさん 島岡 裕樹(しまおか ゆうき)さん
- おかあさん 島岡 瑞希(しまおか みずき)さん
- 赤ちゃん 島岡 夏煌(しまおか なつき)ちゃん
2023年8月8日生まれ
男の子

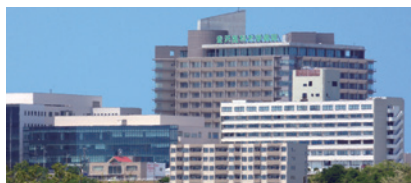


患者さんからの ご意見



このたびは、先生方、ナースの皆さんのおかげで、無事退院することができます。特に、先生方の1日1日の優しい対応と声かけに、どれだけ救われたことでしょうか。こんな優しい外科のDrと出会えたのは初めてです。心よりありがとうございます。

病院の理念 私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します



- 患者さん中心の安全で質の高い医療を提供します
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します
- 新しい医療の研究・開発を推進します
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 動き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- 十分な説明と、情報提供を受けたうえで、ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 治療のどの段階においてもセカンドオピニオン（他の医療機関の医師の意見）を求めることができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。